



横浜みどりアップ 葉っぱ

横浜みどりアップ計画

地域緑のまちづくり事業

STORY REPORT

※助成金を活用していない活動も含まれています

《白根二丁目地区(旭区)》

- 団体名:白根台みどり推進会 ●計画名:白根二丁目 地域と団地をつなぐ緑化計画
- 協定締結期間:令和4~6年度 ●助成額合計:11,065千円(3か年合計)



みんなで育てた白根二丁目の“緑のさんぽ道”

■地区・団体の概要

白根二丁目地区は、横浜市旭区の丘陵地に広がる約37,000㎡の団地で、1~17号棟にわたり243世帯が暮らしています。敷地内には樹林地や駐車場があり、建物は南向きの傾斜地を活かした設計となっており、緑地が確保された、豊かな植栽が特徴です。団地の南西側には丹沢山地や箱根連山、富士山を望むことができ、自然と眺望に恵まれた環境が魅力です。

2016年には、管理組合内に「グリーンパートナー会議」が発足し、植栽の改善に取り組んできました。今回の地域緑のまちづくり事業で活動した「白根台みどり推進会」は、この組織を母体として立ち上げられたものです。自治会のサークル活動とも連携し、楽しみながら取り組める事業運営を目指しました。

現在は、自治会内の既存の緑化サークル「ゆうかかい」が活動を引き継いでいます。「ゆうかかい」は“花を遊ぶ会”という意味を持ち、地域住民が楽しみながら緑とふれあう活動を続けています。

■取組の概要

3年間で計12か所の緑化に取り組みました。

1年目は、住民が集まる管理棟周辺の整備を中心に実施しました。管理棟前の緑地には芝生を植え、東側にはモッコウバラを植栽することで、景観を向上。通りを行き交う幅広い世代の人々が憩える空間を創出しました。また、13号棟南側の公開空地沿いには半日陰に適した8品種・51本のアジサイを植え、「アジサイロード」と名づけました。

2年目には、団地南西部にある旧案内所跡地を、地域住民が楽しめる緑のスポットとして再整備しました。ハーブ、コキア、柑橘類など多彩な植物を植栽し、四季の彩りを感じられる場所へと生まれ変わらせました。斜面地という立地を生かしつつ作業がしやすいよう管理路を新設し、訪れた人が気軽に腰をかけられるような枕木も設置しました。

3年目は、公開空地周辺の4か所に花壇を整備し、敷地の入り口から樹林地へと続く道沿いの緑化を完成させました。これにより、団地内をめぐる動線に統一感のある緑化空間が広がり、住民が身近に自然を楽しめる環境づくりがさらに進みました。

■民有地緑化 住民や子どもたちと一緒に花緑を楽しむ空間を創出

斜面地である旧案内所跡地の緑化整備では、階段と管理路を作り、作業の安全性を高める設計にするとともに、散策や休息ができて季節の訪れを楽しめる緑地にしています。また地域連携として、不動丸小学校の当時4年生の子どもたちに「ゆったり広場」という名前を付けてもらいました。眺望の良さを活かすため立体花壇を作り、日陰に合うアスチルベやギボウシなどを、日向の立体花壇にはクレマチスやブッドレアなどを植栽しました。他にもラベンダー、アーモンド、ナツミカンなど約46種類の植物を育てています。どこに何が植えてあるかが誰でもわかるように、イラストの完成図も作成しました。

■景観木保全 サクラとケヤキの樹木診断と保全の取組

景観木保全では、2年かけて敷地内にあるサクラ(ソメイヨシノ)とケヤキの木を樹木医に診断してもらいました。サクラは40年以上経った老木ですが、診断した28本のうち、状態の悪い木は2本だけでした。診断後にサクラとケヤキは助成金を活用して枯枝除去などを実施し、健全な状態を維持しています。

■地域緑化活動 身近にある豊かな樹木を地域のシンボルツリーへ

樹木医をお呼びし、「ケヤキなど高木に親しむ研修会」を開催しました。樹木の腐朽の原因となる入り皮などについて説明を受け、樹木の知識を増やしました。また、植物に関する参考図書も購入し、希望された住民へ貸し出しています。身近にあるサクラやケヤキを地域の景観木として関心を高めています。また、不動丸小学校の生徒のみなさんと一緒に樹名板の制作や、竹細工などの制作講習会も開催しました。樹名板は仕上がりが良く、共に喜んでいきます。

広報誌「白根台みどり推進会だより」を発行し、活動内容を住民にお伝えしています。団地にある花や緑に目を向けてもらえるよう努めています。

■3か年の取組を振り返って

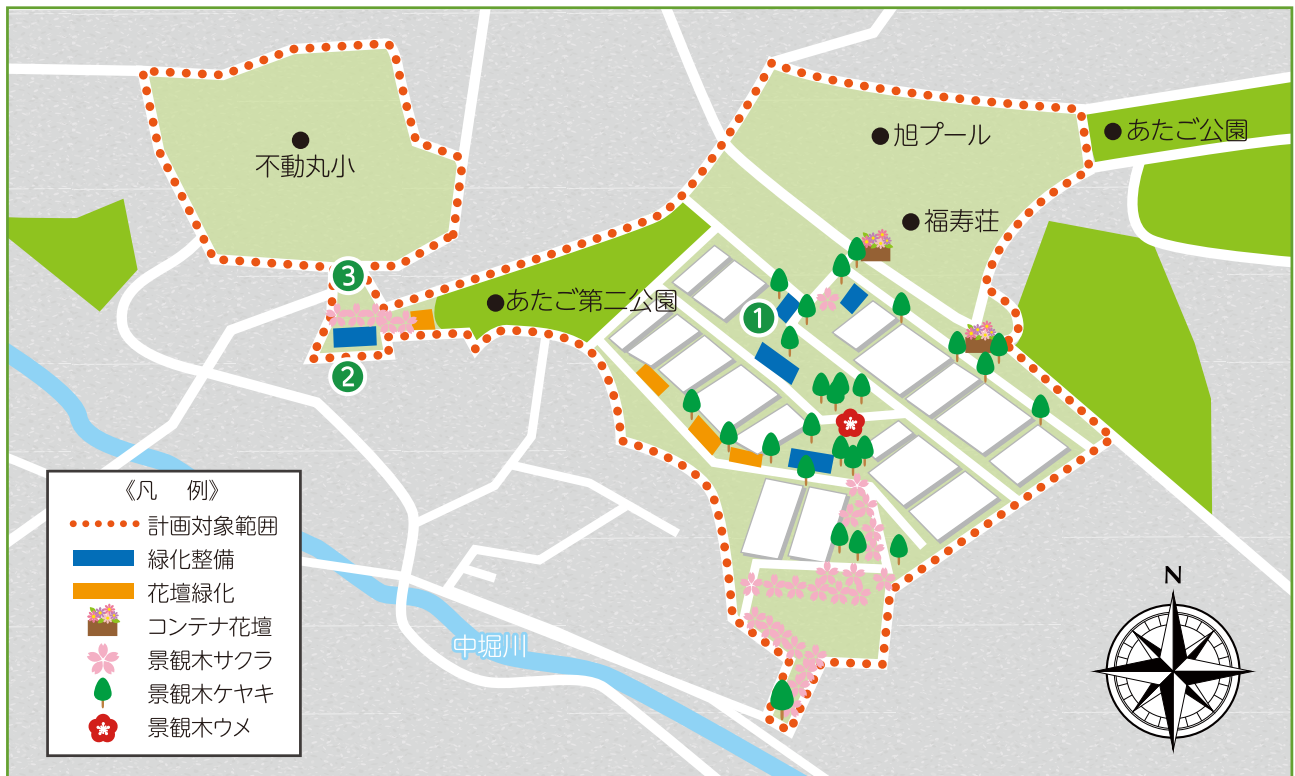
今回の活動終了後は、サークル「ゆうかかい」と協働しながら緑化活動を続けています。

花壇の近くにお住まいの方が自主的に水やりをしてくださるなど、住民同士のつながりが生まれたことは大きな成果だと感じています。

また、整備箇所は斜面地や日陰が多く、取組に苦勞する場面もありましたが、メンバーが力を合わせて完成することができました。地域や近隣の小学校とも連携でき、子どもたちに喜んでもらえた点も大きな収穫です。

一方で、計画から実施の合意までに時間がかかり、結果として花が見られるのが翌年になってしまったことや、団地内へのPRが十分でなかった点については反省点として受け止めています。

今後の課題は、若い世代への活動の引き継ぎです。あまり負担に感じず「できるときだけ参加する」という気軽さを大切にしながら、無理なく関わってもらえる形をつくっていければと考えています。



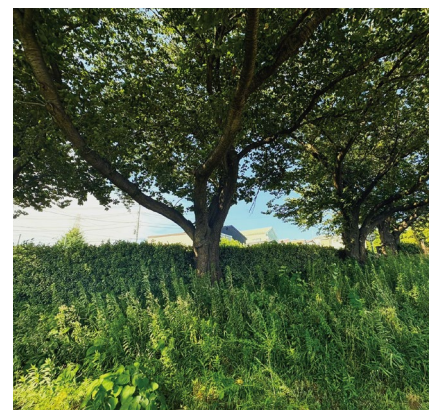
計画の実施箇所図



①管理棟前広場の緑化



②旧案内所跡地の緑化
(ゆったり広場)



③「五本サクラ」の景観木

